

要請番号 (JL02618B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	G132 合気道		個別	交替 3代目	2年	・ 2019/2 ・ 2019/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

防衛省

2) 配属機関名 (日本語)

警察訓練学校

3) 任地 (ディリ県ディリ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は東ティモール国家警察の訓練学校として2000年に設立され、国連、ポルトガル警察等の協力を経て、現在は自立運営されている。「東ティモール国民を守るために奉仕する」をモットーとして、主に採用直後の警察官と中級警察官に対する訓練を実施しており、合気道は正規訓練科目として2008年より取り入れられた。新採用された訓練生へのトレーニングは、基礎訓練2か月、主訓練9か月、現場実習1か月で構成されている。訓練生は多くの応募者の中から選ばれ、1度の採用は250名程度。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

合気道が訓練科目として導入された当初は指導者がおらず、配属先は教官の育成を課題と考え、2011年に協力隊派遣を要請するに至り、2013年に初代隊員が活動を開始した。途中少し間が空いて現在は2代目が活動中である。今後も継続して合気道の訓練を行い、教官の技術と指導力を強化することで、警察訓練学校の訓練技術レベルを向上させ、また独自の訓練にもつながることが期待され、引き続きの派遣要請となった。これまでの2代にわたる協力に対しては、技術的な面のみでなく精神面でもよい訓練になると非常に高い評価を得ている。
※首都にある合気道場の出身者が初めて初段を取得。その後警察官となって現在協力隊と共に配属先で指導している。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 現地指導者と共に正規訓練科目として訓練生への合気道訓練の実施(30-40名のクラス毎に指導を行う)。
2. 合気道指導教官および一般警察官への合気道訓練の実施。
3. 必要に応じた演武などの指導。

※シラバス及び教科書は前任者が作成したものが公式に採用されているが、必要に応じて見直しや調整なども行う。
※現在警察内で合気道クラブ設立の計画があり、設立後には現役の警察官を対象にした指導・稽古を行う可能性もある。
※警察学校では逮捕術にも合気道が取り入れられている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

専用練習場(柔道畳72畳)

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・訓練生:約200名でほぼ全員初心者
(18-23歳まで。高等学校卒業者。男性が多いが、例年女性も20名ほど入学。)
- ・合気道教官3名:全員男性で経験は10年前後:初段1名(20代)、4級2名(20代、40代)

(参考)その他教官、スタッフ 約100名(警察官、20-60代)

5) 活動使用言語

テトゥン語

6) 生活使用言語

テトゥン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：配属先の希望による [経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・合気会三段以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（23～32℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】